

## 2024年3月期 通期決算・中期経営計画説明会 質疑応答要旨

2024年5月14日(火)に開催した機関投資家・証券アナリスト向け説明会の質疑応答要旨です。

**Q. 今期（2024年度）予想のセキュリティ製品販売は前期比8%の増収となっており、前期の伸びに比べて控え目にみえるが、今期減速しているように見える背景について教えてほしい。**

**A.** 例年、大型案件などがあるが、ある程度見えている場合でも予想に組み入れるかどうかの判断は難しい。そのため、今期の製品販売の売上高はあくまで市場平均並みの伸長率の予想としている。

**Q. 今期のSIS事業の売上高は前期比で3%増収の予想だが、前期末の受注残高で約32%増となっており、保守的な予想となっているように見えるがどうなのか？**

**A.** 開発サービスの市場は、特に金融向けなど非常に好調である。当社は内製と外注と組み合わせた事業モデルとなっているが、内製比率がそこまで高いわけではない。IT人材不足の市場のなかで、デリバリー体制にある程度リスクを見た計画としている。

**Q. 今期のSSS事業の利益予想は、前期に先行投資で押し下げられた部分が含まれているかと思う。今期の増益額のなかで、トップラインの伸びと前期からの反動の部分はどのくらいの比率と見ればよいか？**

**A.** 利益増額分のうち、反動部分は3分の1程度と見ている。

**Q. 中期経営計画では、運用監視サービスの売上高の目標値が90億円となっているが、個別監視の引き合いの状況から見て、ここからさらに積み増していけるようなポテンシャルがありそうか？**

**A.** 個別監視は非常に伸びており、大手企業グループや公共関係など向けにさらなる伸長を予想しているが、現時点で中期経営計画からさらに積み増せるほどの引き合いがあるわけではない。

ただ、統合セキュリティサービスプラットフォーム基盤において、個別監視との連携による高度かつコストを抑えたサービスモデルを目指しており、実現すればこれまで手が出なかった顧客層をターゲットにできるものと期待している。

**Q. 中期経営計画における経常利益の増減要因分析のなかで、オフィス戦略で5億円のプラス効果とあるが、年間ベースでのコスト削減効果はどのくらいのイメージか？**

**A.** オフィス戦略による利益インパクトについては、(説明資料から算出できるように)今期は絶対額で見ると4.5億円の一時費用となる。2025年度以降は、平河町オフィスの減床による賃料削減等の効果により、每期、年間3.5億円程度のコストダウン効果が見込めると考えている。

以上